



みんなで考えよう！
いずみの景観

Landscape of Izumi city

出水市の景観に対する取り組みを2月号から4回にわたってシリーズで紹介しています。

2月号では、出水市の自然・風土、生活・生業なりわいに関する景観資源と景観に関するアンケート調査の結果をご紹介します。

今回は、出水市の歴史、都市・社会基盤に関する景観資源の紹介と、「なぜ景観づくりに取り組む必要があるのか」を解説します。

出水市の美しい景観を紹介します！（その2：歴史、都市・社会基盤に関する景観資源）

出水市には、国の重要な建造物群保存地区をはじめとした歴史的な景観が多く残る一方で、九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道など、比較的新しい景観もあります。

また、季節の花を楽しむことのできる公園や通りの景観を印象づける街路樹が各地に整備されています。皆さんも現地に足を運ばれて、出水の美しい景観資源にふれてみませんか。

①歴史に関する資源

城下町や歴史的建造物、社寺などの長い間に醸成されてきた出水固有の文化を伝えるもの

■出水麓の街なみ



■出水麓にある武家門



■紅葉城跡



■木牟礼城跡



■山神橋



■熊陳馬場



■感応寺



■野間之関跡



■境橋



■近代建築（石造倉庫）



■近代建築（出水公会堂）



②都市・社会基盤に関する資源

道路や鉄道、公共施設や住宅地工業地などの都市的な生活を支える都市施設や土地利用など、出水市の風土や文化を残しながらも現在の暮らし方を反映するもの

■九州新幹線出水駅（東口）



■肥薩おれんじ鉄道



■特攻碑公園前の桜並木



■小原山市民の森



■高尾野工業団地



なぜ景観づくりに取り組むのか？

○「景観」は、地域における“日々の暮らしの表れ”

景観は、地域の歴史、地形や自然に培われた風土、文化や伝統、人々の暮らしや経済活動の積み重ねが表れたものです。

○景観づくりの目的は、“まちの魅力を高めること”

景観づくりの本質的な目的は、“まちの見た目をお化粧”することにあるのではなく、“まちを内面からきれいに”していくこと、つまり、日々の暮らしを楽しむ舞台として、まちの魅力を高めることにあります。



■市民による清掃活動

景観づくり＝地域づくり・まちづくり

景観づくりは、まちづくりや観光振興・文化振興の手段のひとつであり、大きなきっかけでもあります。

市民の皆さんが、普段なにげなく行っている家の周辺や溝などの清掃、玄関口や庭などの鉢植えや、地域ぐるみで行われている清掃活動への参加など、身近なところの景観づくりが地域づくり・まちづくりには欠かせません。



■出水麓の観光牛車

また、今回ご紹介しました、歴史に関する景観資源は、今日まで何代にもわたって先人たちが守り残してくれた財産であるとともに、貴重な観光・文化資源でもあります。その保全・活用には地域の方の理解・協力・活動が重要となります。

景観づくりからまちづくりへと展開する“**景観まちづくり**”にご協力ください。

出水市の景観づくりの基本的な計画となる「景観計画」の策定を進めています！

景観資源の調査結果などを踏まえ、出水らしさを活かした美しい景観づくりを積極的に推進するため、現在、地元の学識経験者や関係団体の代表、公募の方々などで構成する「出水市景観計画策定委員会」において、「景観計画」の策定を進めています。計画の策定に当たっては、パブリックコメントなどを通じて市民の皆さまのご意見をお伺いします。詳しくは、シリーズ4回目（5月号予定）で紹介いたします。

今回紹介した景観資源や景観づくりの必要性については、市のホームページでも公開しています。

（出水市ホームページ（<http://www.city.izumi.kagoshima.jp/>）⇒行政⇒景観）

次回は、「出水市の美しい景観（その3：祭事・イベントに関する景観資源）」と「景観づくりにおける市の取り組み」などについてお知らせします。

景観に関するお問い合わせなどがありましたら、本庁建設政策室（☎63-4086）までご連絡ください。